

仏教とお寺をやさしく解説

さんが

Saiganji Sainomiyako Memorial Park News

2017年1月
第27号
(年4回発行)

新年号

発行部数3千部



「挨拶はねぎらいと氣遣いの心」／丹羽義昭住職インタビュー
シリーズ浄土宗／袈裟の意味

実践教室／喪中の正月

・七福神めぐりウォーキング (新年開運七草粥の会) ご案内

・厄払い節分会法要のご案内

挨拶は、ねぎらいと気遣いの心

「挨拶を交わす」というのは私たちが日常生活で当たり前にしている行為です。漢字の意味を見てみると「挨」は押す、「拶」は進むなどの意味を持っています。「押し進む」…漢字の意味だけだと少し乱暴なイメージにも捉えられますね。

この言葉の語源は仏教からきたという事で、「挨拶」をテーマに丹羽ご住職にお話しを伺いました。



丹羽住職

問 「挨拶」の言葉は、師が弟子に何かを問い、弟子がそれにどう答えるか試されるといふ禅問答をさす言葉でもとは禅宗で使われていた言葉だそうですね。

住職 そうですね。禅問答は、相手（師）の問いがあつて、それに答えるというかたちなので、それが転じて私たちが日頃つかう挨拶となつていったのでしょう。「ご機嫌いかがですか？」と挨拶をかわすのと同じようにね。

問 私たちは子どもの頃から「挨拶をきちんとしなさい」「挨拶は大切」と教えられ育ってきました。「何で？」と考えることもなく当たり前のこととして「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」と言葉にしていますが、声を掛けたり、掛けられたりすることで気持ちも明るくなる。「挨拶」にはそんな効果があると思うのですが。

住職 昔は挨拶を「言葉かけ」と言ったそうです。他人と外で会つたりすれ違つたりした際は、言葉をかけるのが一般的な儀礼とされていたようです。そして、「おはよう」は「お早くから、ご苦労様でございます」の略で、朝早くから働く人に向かつてのねぎらいの言葉。「こんにちは」は「今日のご機嫌いかがですか」などを略した言葉で出会つた人の体調や心境を気遣うことなのです。挨拶は、相手へのねぎらいと気遣いの表れということですから、挨拶を交わすとお互いがやさしい気持ちになれるのではないかな。

問 以前お聞きしたお話しの中に、お釈迦様の実践すべ

き徳目で無財の七施というのがありましたが、その中の「眼施」や「和顔施」「言辞施」を思い出しました。それに通じることなのでしょうが？

※眼施Ⅱやさしい目で人に接する。和顔施Ⅱ人に笑顔接し不快な表情を与えない。言辞施Ⅱ人にやさしい言葉で接し悪い言葉を与えない。

住職 ええ、そうですね。穏やかな顔で親しみをもった言葉をかける、「和顔愛語」と同じ精神です。

※「和顔愛語」は、浄土宗の根本經典である浄土三部經（「無量壽經」「觀無量壽經」「阿彌陀經」）の「無量壽經」の一説にてでてくる言葉

問 ところで、ご住職は、地域活動として「あいさつ運動」をされているということですが、それはどのような事なのでしょう？

住職 はい。防犯対策の一環でもあるのですが、地域の民生委員の方と一緒に高齢者のお宅を見回り、声かけなどを行っています。「あいさつ運動」で地域を見回すことは、独り住まいの高齢者の方とも、地域住民の方ともコミュ



ニケーションがとれますし、不審者の侵入の抑制にもなるんですよ。それに「こんにちは」と声を掛けてもらえるのは嬉しいことですし、挨拶することで相手の様子もわかり、気持ちよく挨拶できると自分自身も元気になるですよ。

問 確かに、「おはようございます。いってらっしゃい」などと声を掛けられると、今日も頑張ろう！ という気持ちになります。

住職 そうですよ。自分から明るく挨拶をすれば、相手も同じような気持ちになつてもらえるということです。

幼稚園などで子どもたちと接する時

に、きちんと挨拶ができる子ども親御さんは、やはり挨拶がしっかりと出ているんです。子どもは大人たちを見て育つものです。ですから、外でもそうですが、家庭の中でも、家族同士の挨拶も大切なことです。それに、朝部屋から起き出してきて何も言わずに身じたくを済ませ顔も見ずに小さな声で「いってきます」と言つて家を出るよりも、「おはよう」と挨拶を交わせば家族の心や身体の様子もわかるし、一日のスタートが気持ちよく切れるのではないのでしょうか。

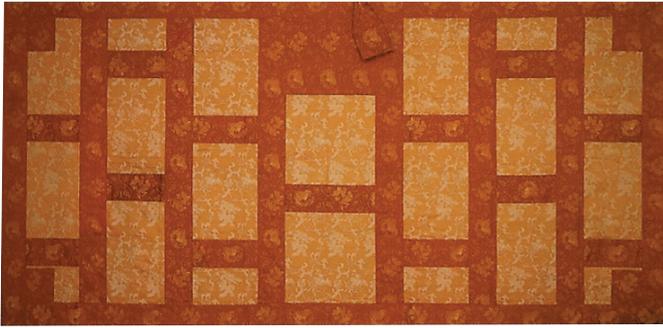
問 普段何気なくしている挨拶も、日常生活の中で大切な役割があるのだと改めて感じます。新しい年は、「和顔愛語」の精神で、新年のご挨拶から気持ちよく始めたいと思います。本日はありがとうございました。



西願寺参道

袈裟の意味

僧侶の服装として、まず思い浮かぶのは袈裟。
袈裟にはどのような意味があるのでしょうか？



七条袈裟



輪袈裟



絡子

古代インドでは、僧侶は擦り切れた布切れを継ぎ合せ、壊色えしきという、青・黄・赤・白・黒の五つの正色を避けた質素な濁った色の布を身につけていました。

袈裟は、梵語でカサーヤといい、この言葉はもともと「汚れた」という形容詞です。つまり袈裟とは法衣の色を指した言葉だったのです。

仏教が生まれた頃のインドでは「三衣さんえい一鉢いっぽつ」が出家僧に許された唯一の所有物でした。この「三衣」とは、「大衣」「上衣」「中衣」の三種類の袈裟を指します。横に組まれた布が何条になつていくかで種類が違い、条の数が多ければ多いほどフォーマルなものとなされ、王宮に招かれたときなどに着用したといえます。

大衣は二五条から九条のもので、上衣は七条衣と呼ばれ、中衣は作業や寝るときに用いられました。

インドでは、袈裟一枚の修行生活を送られていましたが、仏教が中国、日本に伝わるにつれ、これだけでは寒さが防げず、次第に下衣がふえ、のちにこれが法衣となりました。日本に渡り儀式用として作られるようになると、装飾的な内容も含まれ、現在のようないろんな色に染められるようになったのです。また、袈裟を簡略化した「絡子」や「輪袈裟」も作られるようになりました。

ボロ布を継ぎ合わせて作られていた僧侶が身につける僧衣そうい、袈裟かそうも、修行用から儀式用のものとなり色や形も変化していったのです。

現在、日本の僧侶がまとう袈裟の右肩が抜かれているのも、相手に敬意をあらわすインドの習慣が残っているためと云われています。

喪中のお正月

年内に家族に不幸があった場合、年賀状は出さずにあらかじめ年賀欠礼状

(喪中はがき)を出します。

では、喪中のお正月はどのように過ごすのでしょうか。



喪中と忌中

喪に服する期間には、「忌中」と「喪中」があり、その内容は次の通りです。忌中(忌服期間)は、神道による考えで「穢れである死を忌む期間」とし、忌中である五〇日は自宅に謹慎し、仕事を控え、殺生はせず、神社に参拝してはいけない期間。喪中(服喪日数)は、「喪服を着用する期間」で、一般に、慶事などは出席しない期間とされています。

喪の期間を一年としたのは、中国の儒学者がまとめた礼に関する書物「礼記」によるものです。親族が家族の死を悼んで遊びや笑いを慎み、酒肉を断

って謹慎するものとしています。日本では、明治時代まで「服忌令」という法律で服喪も定められていました。

仏教の場合、四十九日までは「忌中」と捉え、四十九日の法要を終えて忌明けとします。また、忌中、喪中の期間には、地域や亡くなった人との関係、個人の考えなどでも変わります。※浄土真宗では、忌中、喪中という言葉は使いません。

正月はどう過ごす？

門松や、しめ飾り、鏡餅、お節料理やお年玉。お正月を彩るものは沢山ありますね。一般的に、祝いを意味することは避けた方が良くと言われていますが、お正月に行うこと全てを行ってはいけないわけではありません。例えば、お年玉などは、神事ではありませんで、もったり、あげたりすることに特に問題はないそうです。しかし、その場合でもお年玉袋で紅白の水引をあしらったものなどは避けた方が良さそうです。



お寺に初詣

めでたさを祝うことだけでなく、今年一年心正しく過ごすことを誓うのが仏教でのお正月です。ですから、喪中であってもお寺のお正月の行事(修正会)などに参加してもよいのです。

暮らしの中の 仏教語

「言語道断」【ごんごどうだん】

あまりにも酷いこと。とんでもない事を「言語道断」と言ったりしますね。

この言語道断ももとは仏教語なのです。仏教の心理は奥深く言葉で表すことができない、言語の道が断られた世界ということ。また、言葉は迷いをもたらす根源でもあるので、言葉で説明すると道が断られる意味ともされるのだとか…。

「口では言い表せない」というところから、さらに「とんでもないこと」「許しがたいこと」「不当な」と意味が転じていったそうです。



厄払い節分会法要 (豆まき)のご案内

西願寺では、節分会法要を開催いたします。当日は、厄払い法要の後、関取による豆まきが行われます。

平成29年度に前厄、本厄、後厄にあたる善男善女の方は是非お申込みご参加ください。

眞加料 10,000円

(祈祷料、会食代)

日時 平成29年2月3日(金)

10:00 受付

10:30 節分会法要

11:30 豆まき

※尚、豆まきのみのご参加は、浄財としてお賽銭(灯明料)をお願いいたします。



遊馬町会 七福神めぐりウォーキング (新年開運七草粥の会)のご案内

毎年恒例となりました、新年開運七草粥の会。七福神めぐりのウォーキングと併せどなたでも楽しく参加できる行事です。お気軽にご参加ください。7カ所の神社寺院をめぐり御朱印をいただきます。



ゴールの西願寺では記念品が手渡され、開運七草粥が振る舞われます。

日時 平成29年1月7日(土)

10:00から12:00の時間内で
巡っていただきます

参加費 100円(※保険料として)



●落語と仏教●

年末年始になると、落語番組が増えお茶の間を賑わします。落語と仏教は深い関わりがあるのです。落語の祖とされているのは、浄土宗の説教師、安楽庵策伝和尚。説教師というのは、説教を語る僧侶のことで、安土・桃山時代、安楽庵策伝和尚も豊臣秀吉の御伽衆であったそうです。策伝は、落とし噺の名手で、文人、茶人としても知られています。策伝の著した笑い話を集めた『醒睡笑』に収録された話は最後に落ち〔下げ〕がついていて、策伝は、この形式で説教をしていたと言われています。



西願寺 平成28年度 十三夜お月見チャリティーコンサート開催報告

去る、10月14日、西願寺本堂にて恒例となったお月見チャリティーコンサートが開催されました。この日は、セーンジャーさんによるモンゴルの遊牧民の間に伝わる弦楽器、馬頭琴で様々な曲が演奏され、その独特の音色が西願寺本堂に響いた一夜でした。



馬頭琴を演奏するセーンジャー氏



掲 示 板

彩の都メモリアルパーク 管理事務所 年末年始休業のお知らせ

◆年末年始休業日◆

平成28年12月28日(水)～

平成29年1月4日(水)

年末年始の休業期間は管理事務所における事務手続き、電話問い合わせなどの業務はおこなえません。

尚 墓所へのお参りは通常通り開門しておりますのでご自由にいらしてください。

平成29年 年回表

年ごとの命日を祥月命日といい、年回にあたった年の、この日に行く法要が年回(年忌)法要です。この法要では亡くなった方とご縁のある方が集まり、故人を偲びながらお勤めします

1周忌	平成28年逝去	37回忌	昭和56年逝去
3回忌	平成27年逝去	50回忌	昭和43年逝去
7回忌	平成23年逝去	100回忌	大正7年逝去
13回忌	平成17年逝去		
17回忌	平成13年逝去		
23回忌	平成7年逝去		
27回忌	平成3年逝去		
33回忌	昭和60年逝去		



各行事の参加申し込み・お問合せは
西願寺までご連絡ください

TEL. 048-925-1723
FAX. 048-925-1789

西願寺 平成29年 年間行事案内

- ※1月 1日(日) 修正会(新年をむかえての法要=おつとめ)
- ◎1月 7日(土) 七福神めぐりウォーキング(新年開運七草粥の会)
- ◎2月 3日(金) 厄払い節分会法要
- ※2月15日(水) 涅槃会(お釈迦さまの命日)
- ◎3月17日(金) 春の彼岸会
～23日(木)
- ※4月 8日(土) 灌仏会(花まつり)
- ◎7月13日(木) お盆会(東京棚経)
～16日(日)
- ◎8月 2日(水) 合同新盆供養
- ◎8月13日(日) 旧盆会(地元棚経)
～16日(水)
- ◎8月18日(金) 大施餓鬼会
- ◎9月20日(水) 秋の彼岸会
～26日(火)
- ◎11月 2日(木) 第8回十三夜お月見コンサート
- ※11月23日(木) 十夜会(念仏をとなくて善根をつむ法要=おつとめ)
- ※12月 8日(金) 成道会(お釈迦さまのお悟りの日)
- ※12月25日(月) 仏名会(念仏をとなくて一年を反省する法要=おつとめ)



毎月25日は念仏会を開いております

◎印は予定をたてて是非ご参詣ください。

※印は現在、寺だけで自主的に行っている法要=おつとめです。

■お便り募集■

編集部では皆さまからのお便りを募集しております。仏事の疑問や悩みごと、身近なできごとや日頃感じていること、川柳など、ぜひお気軽にお寄せください。

◆イオ株式会社

西願寺・彩の都メモリアルパーク通信「さんか」編集部
東京都千代田区飯田橋四・七・十一カクタス飯田橋ビル7F
FAX 03(32205)1600 Mail: info@io-con.net

■次号予告

次号は平成二十九年二月発行予定の「春のお彼岸号」です。



◆編集後記

もういくつ寝るとお正月。子供の頃はそんな歌を歌いお正月が来るのを楽しみにしていました。今は：「どうだろう：？」とところで、年のはじまりを家族や友人たちと祝う席に欠かせないものとして、おせち料理があります。おせち料理は五節句の料理の一つで、平安時代に宮中で行われていた「お節供」の行事に由来しているそうです。節日にお供えをし、宴を開く宮中行事だったのだとか。何だか雅なお話です。さて、平成二十八年もいよいよ終わりに近付きました。私も、ご住職とのお話しにもあったように気持ちよくご挨拶をして新年を迎えたいと思います。皆様、どうぞよいお年をお迎えください。新年も宜しくお願い致します。

発行者

遊馬山一行院 西願寺

〒三三〇〇〇〇三二 埼玉県草加市遊馬町四三〇番地

電話 〇四八一九二五一一七三

FAX 〇四八一九二五一一七八九

彩の都メモリアルパーク

〒三三〇〇〇〇三二 埼玉県草加市遊馬町二六〇一九

電話 〇四八一九二二一四一九四

FAX 〇四八一九二二一四一九五

企画・編集・製作

西願寺 丹羽義昭住職

イオ株式会社 西願寺・彩の都メモリアルパーク通信

「さんか」編集部